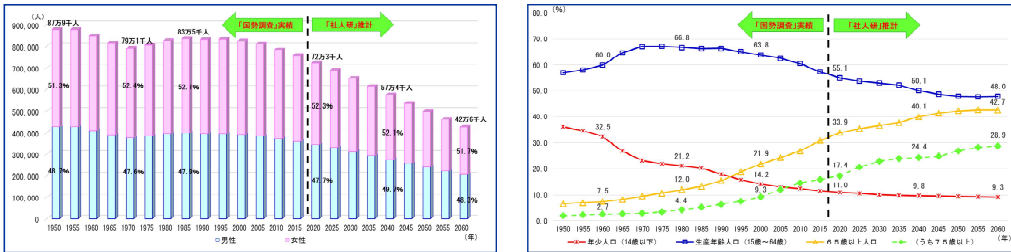


とくしま人口ビジョン(2020年策定) (概要版)

◆人口ビジョンとは

- 徳島県の人口の現状を分析・検証した上で、県民の皆様と人口減少問題に関する認識を共有し、「今後の目指すべき方向性」と「将来人口の展望」を提示するもの

◆徳島県における人口の現状



(出典) 総務省「国勢調査」
国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(平成30年(2018年)推計)」

徳島県の人口は、「約**71万2千人**」(2021年10月1日現在:総務省・人口推計)

⇒**40年**後、高校生の皆さんが50代後半になる頃には、「約**42万6千人**」まで**29万人**近くの「**減少**」が予想

◆将来の目指すべき方向性・目標

総人口 2060年に、「**55万人～60万人超**」の人口水準を確保！ ※2021年10月時点:71万2千人

「生産年齢人口(15歳～64歳)」の構成比率「**50%**」を確保！ ※2020年時点:55.1%

若者を中心に、「**15歳～44歳**」人口の構成比率「**30%以上**」を確保！ ※2020年時点:32.5%

合計特殊出生率の算定基礎となる

「**15歳～49歳**」女性人口の現状水準「**17%台**」を確保！ ※2020年時点:17.8%

自然増減 2025年に、結婚や出産に関する希望がかなう場合の「**希望出生率1.8**」 ※2021年時点:1.45

社会増減 2030年までに「**転入・転出者数を均衡(社会増減ゼロ)**」 ※2020年度時点:▲1,423人(転出超過)

自然増減・・・出生・死亡による人口の増減
社会増減・・・転入・転出による人口の増減

v s 東京「とくしま回帰」総合戦略～未知の世界への挑戦～ (概要版)

◆総合戦略とは

- 「まち・ひと・しごと創生法」により県や市町村で策定することが求められている地方創生に関する施策の基本的な計画
- 「とくしま人口ビジョン」で掲げた目標の実現に向け、2020年度～2024年度までの5か年の「人口減少の克服」と「持続可能な地域づくり」のための「施策の方向性」を定めている

◆4つの基本目標

基本目標1

「未来を担うひとの流れ」づくり

【目標】
2030年:転入・転出者数の均衡(社会増減**ゼロ**)

【主な取組】

- 地方と都市の双方で学べる「デュアルスクール」の展開
- 豊かな自然環境と光ブロードバンド環境を活用し、「サテライトオフィス」を誘致



「デュアルスクール」屋外での授業風景



サテライトオフィス(備えんがわオフィス)

基本目標2

地域を支える「魅力的なしごと」づくり

【目標】
2024年:雇用の創出数 5年間で**5,000人**

【主な取組】

- 県産木材の利用拡大を目指し、木とふれあい、木を知っていただく「木育」の推進
- 世界初！道路と線路の両方を走る「DMV(デュアルモード・ビークル)」の導入による観光誘客



木のおもちゃ美術館



DMVの本格営業運行開始

基本目標3

結婚・出産・子育てで「希望がかなう環境」づくり

【目標】
2025年:希望出生率**1.8**

【主な取組】

- 結婚を希望する方の出会いの場をつくる、「マリッサとくしま」の運営
- 仕事と子育ての両立に積極的な企業を「はぐくみ支援企業」として認証



「マリッサとくしま」移転・リニューアル



「はぐくみ支援企業」の認証

基本目標4

安全・安心「持続可能な社会」づくり

【目標】
2024年:Society5.0に向けた取組 5年間で**25例**

【主な取組】

- 患者や医師の負担を軽減するため、第5世代移动通信システム「5G」による遠隔医療を実施
- 自然エネルギーにより、脱炭素社会の実現を目指すため、「燃料電池バス」の導入



「遠隔医療」のイメージ



「燃料電池バス」の出発式